

## 稲刈りが終わったほ場から 速やかに排水対策を行いましょう！

### 1. 排水対策で収量・品質の向上

麦の生育にとって排水対策が最も重要な技術です。いかに湿害を回避するかが収量・品質を向上させるポイントです。排水対策を徹底すれば、麦の出芽や生育が良くなり、除草剤や肥料の効果も高まります。

### 2. まずは、ほ場周辺の溝掘りから

水稻の収穫後は、天候や土壌状態を確認し、排水溝（明きょ）を設置し、雨水が流れるようにしましょう。

今年の水稲栽培期間中は、降雨が多く、収穫時のコンバインでの踏み荒らしによる滞水も散見されます。

ほ場表面に滞水がある場合、無理に作業に入ると、ほ場を荒らすことになるので、表面滞水を解消してから作業しましょう。



オーガ式溝掘機などで  
しっかりと掘る

### 3. 排水溝はつなぎ、補助暗きょも設置しましょう！

設置した溝（明きょ）は、しっかりつなぎ、水口から水尻に排水するようにしましょう。あわせて、弾丸暗きょなどで補助暗きょを設置し溝（明きょ）とつなぐことで排水性が向上します。



つなぎ目はしっかりつなぐ！



弾丸暗きょは明きょとつなぐ！